

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいりすキッズ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 15日		～ 2026年 1月 30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 20
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当社の訪問看護ステーション担当者が、その児童の支援員として訪問することで、家庭内での運動機能・発達面の評価・環境面、訪問先での様子と環境面を含め、総合的に支援することを重要視しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の機能面・能力面の評価を適宜ご家族と共有し、自宅で行えるメニューは適宜ご案内しています。 ・訪問先での様子・困りごとは、適宜情報収集をしています。 ・訪問先へ訪問後は、記録を作成し、ご家族様と訪問先へ提供し、情報共有をしています。 ・当事業所は基本的に単独担当者となるため、定期的にスタッフで情報共有(困りごと・介入内容)をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にスタッフで情報共有(困りごと・介入内容)をしています。
2	当事業所は、専門職(理学療法士・言語聴覚士・看護師)が支援員として訪問することで、それぞれの介入目的に応じた専門的視点で支援しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な報告会を実施し、多職種でのケースカンファを行い、支援内容の方向性を共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当社の訪問看護ステーションの専門職スタッフとご自宅・訪問先での様子・問題点をそれぞれ共有し、本人と本人を取り巻く環境を支援していく
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援員の経験の差による、支援内容・満足度の差は出るかもしれない。	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修の提示・内部研修を開催出来ていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートより、施設側・保護者様の評価は良かったので、引き続き、相談・情報共有を出来る場を作っていきます。 ・学校介入経験者の経験談や工夫など内部研修を検討してまいります。
2	基本的に支援員それぞれが単独訪問であり、支援員それぞれに任せている。視点が狭い可能性があるかもしれない。		<ul style="list-style-type: none"> ・当社の訪問看護ステーションの専門職スタッフとご自宅・訪問先での様子・問題点をそれぞれ共有し、本人と本人を取り巻く環境を支援していく
3			